

みなみあいづ

# 議会だより

平成24年1月25日発行

第23号



## 12月定例会

条例改正	水道料金が改定されます	2
12月補正予算	補正予算全会一致で可決	4
一般質問	14議員が町政を問う	5
臨時議会	災害復旧費の補正予算を可決	19
議会報告会	4会場で開催	20
議会活動報告	会津縦貫南道路の早期整備促進を決議	21

恒例の門松づくり講習会 (シルバー人材センター)

ホームページ <http://town.minamiaizu.org/gikai/>

# で統一されます

## 水道事業給水条例・簡易水道給水条例の一部を改正する条例を全会一致で可決

平成23年第4回定例会を12月9日から16日までの8日間の会期で開催しました。町からは条例改正の議案9件、補正予算7件、その他の議案1件、各委員会からは条例改正の議案2件、決議案1件が提出され、審議の結果すべて可決・採択しました。

### 水道料金改定の経緯

町村合併前の水道料金体系は、旧町村ごとに基本水量や超過水量の料金が異なるため、水道料金は均一ではありませんでした。

これを是正するため町村合併協議会は、「水道料金については合併後5年をめどに統合する」との協議が調いました。それを受け、水道事業運営審議会では、「広大な面積における給水管の延長や多数の給水施設等を維持管理し、町民に安全な水を提供するための必要経費を考慮すると、田島地域の料金設定に近い金額が望ましい」との方針を打ち出し、水道料金を一度に統一せず3段階に分けて改定することになりました。

#### 水道料金格差の是正策

##### 第1段階（平成20年度）

公共施設が加入している第1種の料金を全地域一本化  
西部地域（館岩・伊南・南郷）の料金を統一し、各種別単位の基本料金を設定

##### 第2段階（平成23年度）

西部地域（館岩・伊南・南郷）の第2種から第4種までの料金を改定（料金引き上げ）

##### 第3段階（平成24年度）

全地域の水道料金体系を統一

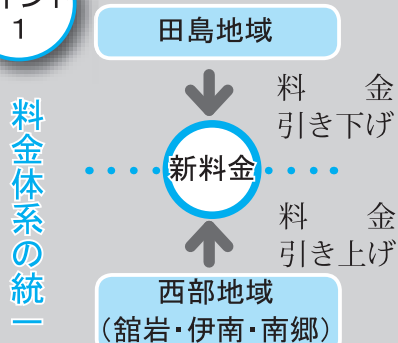
※第2段階は経済情勢を踏まえ、第3段階と併せて平成24年度に改定されます。

大  
料金格差  
小

### 水道料金改定のポイント

平成24年4月から全地域の水道料金体系が統一されます。そのほか、新たに、水道の使用状況を勘案して、高齢者世帯や集落で管理している集会施設の料金体系が見直されました。

#### ポイント1



#### ポイント2

##### 高齢者制度の導入

水道使用量の少ない高齢者世帯（65歳以上の一人暮らしまたは65歳以上で構成する世帯）へ配慮し、家事用に使用する水道の基本水量および基本料金を改定します。

高齢者制度（65歳以上で構成する世帯）を適用する場合は、事前に届出書を提出する必要があります。

# 水道料金が全地域

## 水道料金体系

種別	区分	基本水量 (m <sup>3</sup> )	基本料金 (円)	超過料金 (円 / 1 m <sup>3</sup> )
第1種 官公署・学校・ 保育所・病院・ その他公共施設	改正後	20 m <sup>3</sup>	全地域 4,536円	231円
	改正前	20 m <sup>3</sup>	全地域 4,536円	231円
第2種 一般家事用および 高齢者・集会施設用	改正後	一般家庭用 10 m <sup>3</sup>	全地域 1,900円	195円
	改正前	一般家庭用 10 m <sup>3</sup>	田島 2,047円	210円
			西部 1,600円	160円
改正後 (新設)	高齢者・集会施設用 5 m <sup>3</sup>	全地域 1,600円	(6 ~ 10 m <sup>3</sup> ) 60円 (11 m <sup>3</sup> ~ ) 195円	
第3種 特需用施設 (病院等の施設で、 毎月 200 m <sup>3</sup> 以上の 大口需要者)	改正後	200 m <sup>3</sup>	全地域 25,830円	235円
	改正前	200 m <sup>3</sup>	田島 27,772円	252円
西部 21,000円			180円	
第4種 営業用および 営業特需用	改正後	10 m <sup>3</sup>	全地域 2,390円	(11 ~ 200 m <sup>3</sup> ) 235円
				(201 ~ 400 m <sup>3</sup> ) 200円
				(401 ~ 600 m <sup>3</sup> ) 170円
				(601 ~ 800 m <sup>3</sup> ) 150円
				(801 ~ 1,000 m <sup>3</sup> ) 130円
				(1,001 ~ 1,500 m <sup>3</sup> ) 110円
				(1,501 m <sup>3</sup> ~ ) 100円
	改正前	使用水量 10 m <sup>3</sup>	田島 2,752円	252円
		使用水量 1 ~ 200 m <sup>3</sup>	10 m <sup>3</sup> 西部 1,800円	180円
		使用水量 201 ~ 400 m <sup>3</sup>	200 m <sup>3</sup> 西部 36,000円	140円
使用水量 401 ~ 1,000 m <sup>3</sup>	400 m <sup>3</sup> 西部 64,000円	130円		
使用水量 1,001 ~ 1,500 m <sup>3</sup>	1,000 m <sup>3</sup> 西部 150,000円	120円		
使用水量 1,501 ~ 2,500 m <sup>3</sup>	1,500 m <sup>3</sup> 西部 200,000円	120円		
使用水量 2,501 m <sup>3</sup> ~	2,500 m <sup>3</sup> 西部 300,000円	120円		

## 議案質疑

### 楠正次議員

簡易水道事業は第4種の大口需要者への激変緩和措置が適用されますが、超過水量の負担感が大きい11 ~ 200 m<sup>3</sup>までの対象件数と金額は。

### 環境水道課長

平成22年度の実績をもとに試算した結果、右表のとおりになります。

区分	対象件数	金額
田島簡易水道事業	128	約990万円
館岩簡易水道事業	166	約2,387万円
伊南簡易水道事業	74	約622万円
南郷簡易水道事業	137	約1,544万円

## 12月補正予算全会一致で可決

一般会計1億3,417万円の減額補正予算のほか、特別会計の補正予算が町から提出され、審議の結果、全会一致で可決しました。

### 物産売払いの内容は

**湯田秀春議員**

町営住宅物産売払い収入の内容は。

### 防災行政無線の修繕理由は

**山内政議員**

防災行政無線の設備を修繕する理由は。

### 特別交付税の配分は

**星登志一議員**

特別交付税は2,600万円の増額ですが、東日本震災による配分の内訳は。

**住民生活課長**

田島地域の愛宕山に防災行政無線の受信用鉄塔を設置しています

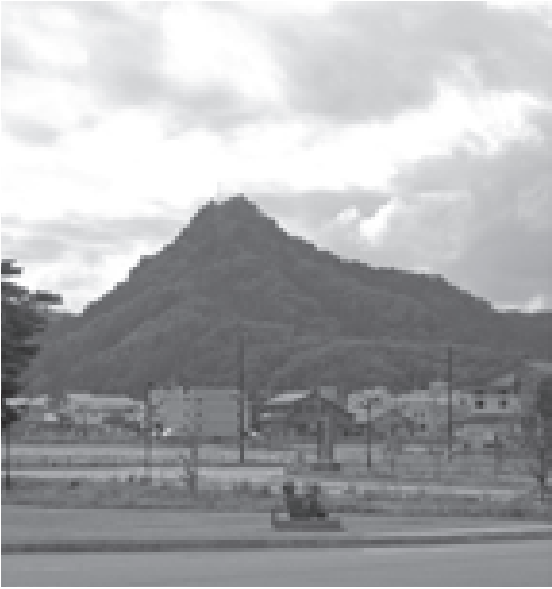
が、この夏に落雷事故があり、受信用基盤等が破損しました。そのため、約680万円の事業費で修繕します。そのほか、館岩地域の防災無線小局などを修繕します。

**総務課長**

特別交付税の交付決定額は約1億2,820万円です。東日本大震災の配分は約2,800万円算入されているほか、新潟・福島豪雨災害など現年の災害分として約4,345万円が算入されています。

通常、町営住宅の入居者は、自らが風呂桶等を据え付けし、転居時は、それらの設備を処分や下取りなどの対応をお願いしています。東日本震災で本町に避難された方が町営住宅へ入居した時は、県の指導により国負担で風呂桶等を設置しました。

その後、避難者が転居したため、新たな入居者と協議して風呂桶等の設備を払い下げしたものです。



愛宕山に設置されている受信用鉄塔

### 新たな料金体系

区分	種類	利用料金	
町民	大人	1回券	200円
		11回券	2,000円
		年間券	15,000円
	高齢者 (満65歳以上)	1回券	150円
		11回券	1,500円
		年間券	11,250円
町民以外	大人	1回券	450円
		11回券	4,500円
		年間券	15,000円
共通	小人 (小学生)	1回券	100円
		11回券	1,000円
		年間券	7,500円

※未就学児は無料です

赤岩荘(伊南地域)とことぶき荘(館岩地域)は、町民福祉の増進を目的に設置された類似施設です。そのため、両施設の利用料金を統一する条例の改正案が町から提案され、慎重審議の結果、全会一致で可決しました。

料金体系は、平成24年4月1日から左表のとおりになります。

### 赤岩荘・ことぶき荘の利用料金を統一





### 町政を問う 一般質問

## 使用料等の未納対策は

町長⇨高額・長期滞納者の徴収対策を強化

**問** 使用料などの未納額が増加

の一端をたどっているが、新たな解消策としての徴収課を設置すべきでは。

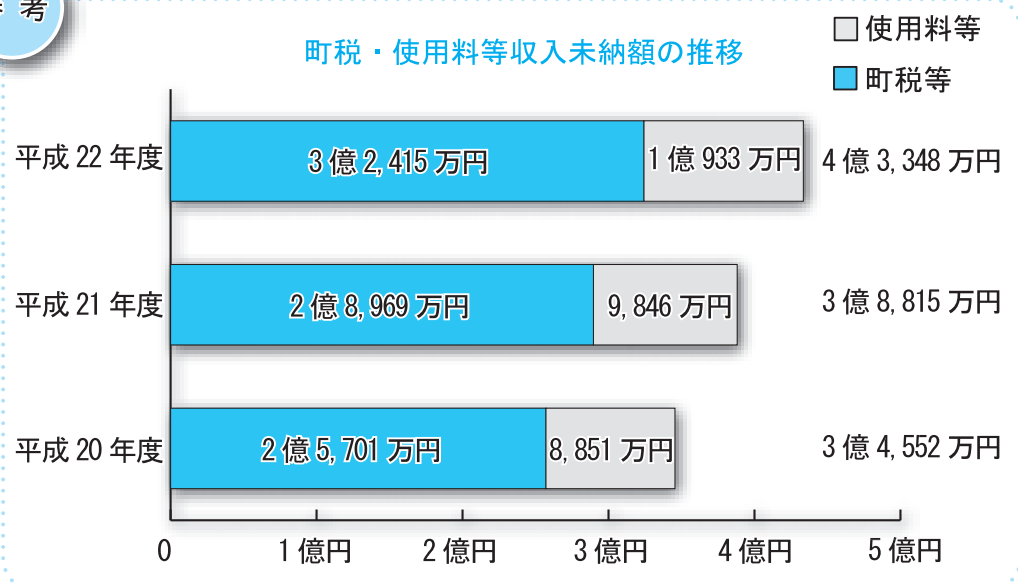
**町長**

未納額は年々増加傾向にあります。

よって、徴収関係各課で組織する町滞納整理対策委員会で高額・長期滞納者の情報を共有化し、その状況に応じた細かな対応で、新たな課の設置はせず徴収体制を強化していきます。

参考

町税・使用料等収入未納額の推移



### 町民に公平な補助制度を

町長＝現状では困難

**問**

平成23年度で完了する生活環境改善工事支援事業について、補助率を見直すなど町民が納得できる補助制度の創設は。

**町長**

平成22・23年度に国の「地域活性化・きめ細

### 就学時健診の目的は

教育長⇨学校保健安全法により実施

**問**

小学校入学半年前に行なわれる就学時健診の目的は。また、健診結果の伝達はどうしていますか。

**教育長**

学校保健安全法にもとづき学校での集団生活に備えることを主な目的に、内科、眼科、耳

かな臨時交付金」により実施しましたが、想定した件数よりも多くの申請があり多額の一般財源の負担となりました。今後の財政状況を考えると国・県の財政的な支援制度がないので、継続した補助制度の創設は困難です。

鼻咽喉科、歯科の健診と簡単な知能検査などを行なっています。検査結果は保護者全員に所要事項を記載した文書で通知し、必要に応じて保護者との直接面談を実施しています。



# 特区の現状と町の構想は

町長＝特区で雇用の創出を

## 問

現在ある特区法と検討されている特区の要点、町の考えは。

## 町長

構造改革特区、総合特区、復興特区の三つの特区制度があり、特に、復興特区は東日本大震災の被害にあった区域で、福島県内全市町村が対象となり、規制手続の特例、税、財政の支援を行なうものです。

## 問

町の構想は再生エネルギーの活用、高齢者用ケアハウス等の整備、新たな観光資源の創造、新たな雇用の創出を目標に検討していきます。

把握は。

## 町長

特区構想のスケジュールの把握は。構造改革特区は年2回

の申請受付で、総合特区は9月に申請受付を開始し、復興特区は平成24年1月から申請受付となっています。

## 問

検討されている特区構想に市町村の意見の反映は。

## 町長

総合特区、復興特区は指定後に国・地方の協議会が設置され、その中で市町村の意見が反映できるものと考えています。

その他の質問

・救急患者の搬送システムについて

## 特別養護老人ホームと介護保険料は

町長＝低所得者の保険料は意見を参考に

## 問

町の健康寿命は。それを伸ばすための活動は。

## 町長

町では健康寿命は算出していません。活動として、転倒予防運動教室、認知症予防教室、低栄養予防教室など健康づくりの事業を実施し、生涯学習担当部署でも、踊り、合唱、カラオケ愛好会等の活動支援を行なっています。

## 問

介護保険料のアップと低所得者に対する緩和措置は。

## 町長

平成23年度の介護保険の介護保険料の基準額は月3,100円で、平成

24年度は介護施設の充実を進めるため、月額1,100円程度アップする予定です。低所得者については、高齢者保健福祉事業等運営協議会での意見を参考に介護保険料を決定していきます。



ゲームを楽しみながら健康づくり（田島ホーム）

# 町政を問う 一般質問

## 今後3年間、高齢者福祉計画の概要は

町長 介護施設の充実に努める

**問** 特別養護老人ホームの増設と増床は、またシヨートステイ対応施設で増床計画は。

特別養護老人ホームの増設と増床は、またシヨートステイ対応施設で増床計画は。

**問** 震災被害者で本町の特別養護老人ホーム入所者数は。

また、震災復興協力と援助のため増床を検討すべきと考えますが、計画は。

また、震災復興協力と援助のため増床を検討すべきと考えますが、計画は。

**問**

今後3年間で福祉計画の目玉政策は。

れるので、震災復興のための施設増床は検討していません。

**町長** 平成24年から始まる第5期介護保険事業計画では、増え続ける施設入所待機者解消のため、特別養護老人ホームを増床する方向で検討していますが、シヨートステイに対応できる施設の増床は計画していません。

**町長**

田島ホームに6名、南郷ホームに4名、伊南ホームに2名で計12名の方が入所していますが、被災地の復興が進むにつれ、家族等の避難するところに転居さ

**町長**

高齢者の一人暮らしが増え、在宅生活の困難な方が、介護施設を容易に利用できるよう施設の充実に努めます。

るので、震災復興のための施設増床は検討していません。

## 教育旅行、今後の対応は

町長＝どこにも負けない受け入れ態勢づくりの構築

**問**

震災の風評被害で教育旅行が大きなダメージを受けました。教育旅行の推進に向けた町の取り組みは。

原発事故の影響で県外からの教育旅行が激減しており、南会津農村生活体験推進協議会を

**町長**

中心に千葉県などの小中学校に対し誘致活動を行ない、本予約3校の受け入れが決定しました。さらに首都圏の教職員や旅行代理店にモニターツアーの実施、マスコミ報道で安心・安全をアピールしながら南会津農村生活体験推進協議会の誘致活動を支援します。



収穫を楽しむ子どもたち



# 地元食材で安全・安心給食を

町長＝積極的購入には安定供給が重要

## 問

地元の米・野菜などの活用で、商店や農家の雇用につながると提案してきましたが、現状で給食食材の地元産品名とその使用割合は。

## 町長

地元産の主な作物は、米・100%、牛乳・100%（西部地域）、アスパラやトマト、きのこ、豆類は約20%です。

## 問

取り組みに加している地元商店数および地元農家数は。

## 町長

地元産作物の納入商店数は把握していませんが、参加地元農家数は36戸です。

## 問

来年度から実施予定の田島地域中学校の給食検討

内容は。

## 町長

食材購入予定農産物の所要計画を作成し、農家で年間栽培計画を立てやすくするとともに、地元商店からの購入促進で地域経済に貢献できる仕組みづくりを検討しています。

## 問

9月定例議会で放射能測定

## 町長

町で購入したベクレル測定器で、定期的に給食食材の検査をし、保護者や子どもたちが安心できるように結果を公表します。



物質の放射能濃度を測定するベクレル測定器

## 住民票等の交付手数料の値下げは

## 問

町長 24年1月の郡内総務課長会議で協議する  
住民票などの料金は、若松方面の市町村では1通200円ですが、南会津郡内では350円と高いので値下げを求めました。  
住民票などの料金は、若松方面の市町村では1通200円ですが、南会津郡内では350円と高いので値下げを求めました。  
特定の者に提供する役務の対価として費用を賄うために徴収する料金で、改正には経費を含め総合的な判断が必要と考えます。

## 町長

現行の料金は平成8年に改正したもので、当  
平成24年1月予定の郡内総務課長会議で協議します。

### その他の質問

- 放射能と自然エネルギー対策は
- 町民の歌について



# 町政を問う 一般質問



## 新潟・福島豪雨災害の復旧状況は

町長 Ⅱ災害査定80カ所で復旧額8億1,738万2千円

**問** 災害査定確定 個所数と金額  
は。 町長 町全体で80 個所、工事 予算額は8億1,738万2千円です。内訳は下表のとおりです。

**町長** 町全体で80 個所、工事 予算額は8億1,738万2千円です。内訳は下表のとおりです。

**問** 復旧の進ちょく状況は。  
町長 林道施設工事は、冬期間の工事が困難で繰り越しと考えています。農地・農業用施設工事は、年度内に完成させ来春の農作業に支障が出ないよう計画します。

**問** 復旧の進ちょく状況は。  
町長 林道施設工事は、冬期間の工事が困難で繰り越しと考えています。農地・農業用施設工事は、年度内に完成させ来春の農作業に支障が出ないよう計画します。

**町長** 林道施設工事は、冬期間の工事が困難で繰り越しと考えています。農地・農業用施設工事は、年度内に完成させ来春の農作業に支障が出ないよう計画します。

**問** 工事の繰り越しおよび冬期間の施工は。  
町長 林道施設工事は、冬期間の工事が困難で繰り越しと考えています。農地・農業用施設工事は、年度内に完成させ来春の農作業に支障が出ないよう計画します。

また、水道施設復旧工事も年度内完成の予定です。

### 災害査定個所数

区分	個所数
農地農業用施設	15 個所
林業用施設	21 路線 54 個所
公共土木施設	9 個所
水道施設	2 個所



濁流に飲み込まれる耕作地（伊南地域）

その他の質問  
・形ある復興支援について

## 風評被害は

町長=観光・サービス業で2億7,000万円、農業で2億1,200万円の賠償請求

**問** 原発事故の風評被害は。  
町長 みなみやま観光(株)の報告では、教育旅行で2,600万円、観光業は客足も遠のき商店の売り上げ減少など相当の風評被害が出ています。

**町長** みなみやま観光(株)の報告では、教育旅行で2,600万円、観光業は客足も遠のき商店の売り上げ減少など相当の風評被害が出ています。

町は商工会と損害賠償請求の説明会や個別相談会を実施し、12月7日時点で117名が相談に訪れ、請求手続きを進めています。

12月6日時点で東京電力(株)が本町から受理・登録した観光業・サービス業の請求額は、3月～8月分、44件、総額2億7,000万円、JA会津みなみが請求した郡内の3月～9月分、2億1,200万円あります。

今後、被害額の全体把握に努めます。



# 針生の水力発電所を復活しては

町長＝前向きに調査・検討する

## 問

針生発電所を復活し、売電や雇用、観光活性化につなげては。

## 町長

阿賀川や伊南川、その支流の豊富な水資源は、自然エネルギーの推進や特色あるまちづくりに重要な資源であり、地域経済や雇用に連動するよう活用します。

針生地区の水力発電所は廃止から40年以上が経過し、水利権や取水対策、環境への影響など、再開には多くの課題があります。今後、具体的な調査や検討をします。

## 問

産業活性化に向け、地元企業が活用できる水力発電事業を推進しては。

## 町長

現在、「山口温泉きら



昭和43年まで37年間発電を続けた針生発電所（最大出力380kw）

ら289」では、木質バイオマスボイラー工事を実施しており、ボイラー本体工事を除き、それ以外は地元企業が工事をしていきます。

町内企業を大切にすることは、地域活性化

や産業振興に非常に重要と考えます。

また、自然エネルギーは、自然災害に備える町づくりの観点からも地元企業による施行・管理で今後も地元優先に配慮します。

## 美しい星空を町の活力に

町長＝環境教育や旅行企画に組み入れる

## 問

美しい星空を教育と観光へ活用しては。

澄みきった星空を堪能できる旅行企画を提供し好評でした。

## 町長

南郷地域の宿泊施設では、復興キャンペーンの一環として「星空観察とホテル鑑賞」の旅行企画を提案し、施設利用者に提供しています。

本町のスキー場や伊南川流域は、満天の星空を一人占めできる絶好の観察ポイントであり、子どもたちの体験活動ができる環境教育の実践に努め、旅行代理店へ星空ウォッチングを企画に取り入れるよう要請していきます。

また、「ふくしまっ子夏の体験活動応援事業」等の取り組みでも、

### その他の質問

・デジタル映画館として、御蔵入交流館大ホールを

# スキー場のグリーンシーズンの利用は

町長 各スキー場の特色にあつた取り組みを推進

## 問

スキー場のグリーンシーズンの利用計画は。

## 町長

だいくらす キー場では、施設を首都圏の大学応援団などの合宿地として開放しています。南郷スキー場では、ひめさゆり群生地 の探勝会や星空観察会を実施しており、高畑スキー場では、わらび園やきのこ園を開設しています。また、たかつえスキー場はトレイルランニング大会やお

むしろ自転車サイクリングの実施、吹奏楽などの学習合宿誘致を行っています。

## 問

スキー場の緩斜面を利用し、公認グラウンドゴルフ場を造る考えは。

## 町長

ゲレンデは起伏や急傾斜が多いうえ、荒造成です。適地かどうか、愛好家や、施設管理者などの意見を聞き、検討します。



芳賀沼順一 議員

## 町政を問う 一般質問



ゲレンデに咲き誇るひめさゆり（南郷スキー場）

## 地産品の料理づくりを

町長=新メニューづくりを支援

## 問

トマトやアスパラガスなど、地産品を使った高校生アイデア料理大会を開催しては。

## 町長

平成22年9月に全町民を対象に、町の産品を利用したスイーツレシピコンテストを開催しました。町内から16名

30点の応募があり、創意工夫をこらしたお菓子づくりの提案を受けました。

会津短期大学生と町飲食業組合の皆さんが共同で、新メニューづくりに取り組んでいます。これからも積極的に支援し、さまざまな可能性を検討します。

## 細井家の建造物保存は

教育長 町による保存は困難

## 問

細井家を歴史的建造物として町で保存の考えは。

維持管理を行なっている状況です。

細井家を含め、歴史的建造物を町が保存することは極めて困難です。

## 教育長

後世に引き継ぐべき建物は細井家以外にも存在しており、所有者が



# 観光雇用対策は

町長＝風評被害支援策と地域経済の活性化に努める

**問** 災害で落ち込んでいる観光産業の対策は。

**町長** 風評被害対策委員会では、首都圏での「風評被害対策キャラバン」「南会津町モニターツアー」、町内宿泊施設を利用する宿泊者に宿泊費の一部を助成する「観光誘客宿泊助成事業」などにより誘客活動を行なっています。

**問** は。伊南川活性化の支援対策

**町長** 県地域づくり総合支援事業の採択を受け、「伊南川鮎ブランド化事業」に着手しました。今後、福島大学と連携し「伊南川鮎ブランド化計画」の策定を行い、鮎産業推進、豪雨災害からの伊南川の復

旧計画策定など、さまざまな事業を展開していきます。

**問** スキー場への支援は。

**町長** 郡山、須賀川、白河から4スキー場への日帰りバスの運行や、さいたま新都心駅発の4スキー場スノーライナーを運行します。また、共通1日引換券を友好都市、交流都市に配布し誘客に取り組みます。

# 災害復旧対策は

町長＝早期復旧を目指す

**問** 住宅の復旧状況は。

**町長** 伊南地域で住家で17棟、非住家で36棟の被害があり、事情がある1棟を除きすべて復旧しました。

**問** 林道の雪解け時の二次災害防止は。

**町長** 早期の災害復旧により二次災害の防止、現場管理に努めます。

**問** 農地に土砂流入がありましたが、復旧状況は。

**町長** 被害規模の小さい箇所は完了しました。被害

規模の大きいところは災害査定により事業費が決定しましたので支障が出ないように早期発注し完了を目指します。



土砂が流入し収穫が危ぶまれた水田（伊南地域）



# 商工業の活性化は

## 町長 沿線地域と連携し資源を生かした取り組みを推進

### 問

100年の悲願といわれ、運行する野岩鉄道は、本町の大動脈です。しかし、その経営は非常事態であり、損失額も2億6,000万円となっています。

24年度には「あいづマウンテンエクスプレス号」の東武線日光駅乗り入れや「お座下口展望列車」の東武線鬼怒川温泉駅乗り入れを予定しています。

また、まだ生かされていない地域資源の掘り起こしと、それら資源を生かした取り組みを沿線地域と連携しながら検討していきま

す。

### 町長

野岩鉄道会津鬼怒川線

は首都圏からの観光の足として役割が大きいことから、観光輸送体系強化を目指し、平成



首都圏と南会津をつなぐ野岩鉄道会津鬼怒川線

## 観光資源や地域活性化素材の有効活用は

### 町長＝議員・町民と協力し活性化

### 問

大震災後、町の不況は深刻さを増しています。今後、人口の自然増

加が望めない中で、観光等交流人口の増加が活路と考えます。

町活性化の素材を探すが、素材発掘に対する考えは。

### 町長

本町には、駒止湿原、

田代山、ひめさゆり、古町の大イチョウ、そして温泉などの自然資源、さらには昨年国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された、前沢集落をはじめとする歴史・文化等の素材も存在しています。

また、まだ発掘されていない観光まちづくりで活用できる資源を、議員、町民の皆さんの協力を得ながら探していきたいと考えています。





# 放射能対策は

町長＝きめ細かい検査と結果公表で安心できる生活を

**町長**

農産物等に  
含まれる放

**問**

農林業への対  
策は。

町独自の対策として、3月末より順次、水道水、農産物や土壌、河川水の調査を、また、6月より町内104の行政区および学校等の空間線量を測定し、ホームページ等で情報を提供しています。さらに、測定機器の整備拡充を行ない、子どもたちや妊婦への線量計配備を進めています。

**町長**

県では「線  
量低減化事  
業」を行ない、町内3  
団体から申請を受け、  
除染活動をしていま  
す。

**問**

国、県と共に  
実施してきた  
対策、および町独自の  
対策は。

放射性物質のモニタリング調査を実施し、ホームページ等で公表しました。

また、農家に対して

関係機関と共に「がんばっぺ南会津技術情報」のチラシを作成し、情報提供しました。

平成24年の作付けに向け、全行政区の農地土壌測定を進めています。

なお、年度内に農林産物等の放射線量の測定器が国から1台、県から2台貸与され、今後、町内で栽培・収穫される農林産物等の検査が可能になります。検査体制を確立し、きめ細かい検査を実施、結果を公表し、風評被害払拭に努めます。

**問**

自主避難者は。

放射能不安に  
よる本町への

**町長**

左表のとおりです。

市町村名	世帯数	自主避難者数
郡山市	5世帯	16名
福島市	3世帯	11名
いわき市	4世帯	11名
棚倉町	1世帯	3名
計	13世帯	41名

**問**

被災者受け入  
れのための空  
き家状況は。

**町長**

9月に調査  
を行ない、

現在44軒の空き家があります。今後被災者の希望にそえる空き家情報を調査し、情報提供していきます。



空間線量を測定する町職員

その他の質問

・第5次介護保険  
事業計画の状況は



# 町政を問う 一般質問

## 仮称「地域ささえあい交付金事業」の目的は

町長 Ⅱ 安心して住み続けられる集落づくりを目指す

**問** 仮称「地域ささえあい交付金事業」の目的は。

**町長** 高齢化や人口減少の中で、安心して住み続けられる集落づくりを目的に、自主的・主体的に相互扶助に取り組む支援地域の活性化を目指します。

**問** 地域リーダー研修会を町と

社協だよりは年4回発行しており、年2回地域の取り組みも掲載しています。他の行政区への波及効果も期待できることから、掲載を依頼します。

**町長** 事業の継続実施のためには地域リーダーの育成が不可欠であることから、社会福祉協議会と連携し、研修会の開催を検討します。

ともに実施しては。



笑顔あふれる「ふれあいサロン」(滝原地区)

**問** サロン事業など、地域の取り組みを「社協だより」に掲載しては。

## 放射線量の低い我が町のPRを

町長＝放射線に悩む保護者の不安解消は南会津地方の社会的使命

**問** 高線量地域の子どもたちの避難受け入れ先としてPRを。

**町長** 現在、風評被害対策委員会で見学客誘致のため、町と宿泊業者で宿泊者一人あたり3,000円の補助を実施しており、来年度には県内の4人以下の

家族を対象にした宿泊助成事業を実施予定です。長期間の避難を想定した避難受け入れが課題と認識しています。今後、復興特区の事業として計画提案も検討していきます。

## ふるさと南会津会の活性化を

町長 Ⅱ これまでの絆を大切に、新たな交流の輪を広める

**問** ふるさと南会津会交流パーティーの開催場所や周知方法を改革し、より多くの方の交流の場に。

**町長** 今後、ふるさと南会津

会の活性化のため、事務局である田島振興公社と協議します。また、原発事故により町経済が低迷している中、同会とのこれまでの絆づくりを大切に、新たな交流の輪が広がるよう、支援していきます。

その他の質問  
・給食センターについて



# 来年度予算の重点施策と編成方針は

町長＝原発事故による風評被害の克服に積極的に取り組む

## 問

震災と原発事故の復旧・復興が本格化する中、本町の予算が従来通り国・県予算と連動するの心配です。これに対する認識と対応は。

## 町長

新潟・福島豪雨災害では、未だ復旧されていない箇所も多く、平成24年度は災害復旧事業を行ない、安全・安心の人にやさしいまちづくりを重点的に進めます。商工業や農業等では事業拡大や、新たな分野に挑戦する方々への支援や就労の場の確保と町民所得の向上に努めます。原発事故の風評被害克服にも積極的に取り組みます。

## 林業施策の充実で雇用の場を

町長＝森林組合等で人材育成と雇用の支援

## 問

雇用創出の場として林業施策をさらに充実すべきと思うが。

## 町長

林業従事者の高齢化が進み、担い手不足が大きな問題です。町は林



林業の技術を学ぶ研修生

業の専門的な知識・技術の研修会を実施し、緊急雇用対策事業の活用で、雇用の場を確保してきました。

今後とも森林組合等で人材育成と雇用の支援を継続していきます。

# 県立南会津病院産婦人科の充実を

町長＝産褥期<sup>じょく</sup>を安心して送れる施設設置を県に要望する

## 問

原発事故に伴い、放射線量の高い地域の妊婦が県外での出産などで県民人口減少の要因になっています。

県とタイアップし、県立南会津病院の産婦人科を充実・強化し、お産の拠点を、放射線量の低い本町につくべきと思うが。

## 町長

本町が安心して、安心して出産できる環境にあることを前面に押し出し、県立南会津病院の産婦人科の充実とそれに伴う産褥期<sup>じょく</sup>を安心して送れる施設の設置を強く県に要望していきます。

### 用語

産褥期<sup>じょく</sup>

出産後、母体が回復するまでの期間を示します。





## 町政を問う 一般質問

# 冬期間、伊南地域 国道の安全確保は

町長＝住民の安全・安心のため、鋭意に除雪を実施する

### 問

浜野地区（国道401号）および耻風地区（国道352号）の国道には

大型の土のうが積まれ、片側通行で除雪に支障があると思います。

町民は雪崩も含め心配しているが、その復旧と対策は。

### 町長

大型土のうは、道路利用者の安全確保に必要な

な場所は、対策工事完了まで撤去しない予定です。

片側通行の現場は、住民の安全・安心のため、鋭意除雪を実施します。

### 問

復旧工事の進捗よく状況や今後の見通しなど、住民への説明は。

### 町長

災害復旧は原則、原形復旧です。原形復旧が困難な箇所は、基準にある工法・施工を提案し、住民説明会で理解を得、工事に入ります。地区の人へ随時、情報提供をしていきます。

## 風評被害に対する産業復興策は

町長＝首都圏および県内に向けた誘客対策を実施していく

### 問

東日本大震災以降、東北の多くの地域で主に観光業や農業が風評被害に悩まされています。短期的、中長期的視点での産業復興策は。

### 町長

短期的には、風評被害で甚大な被害を受けている観光産業は、風評被害対策委員会を中心に一人でも多くの人が来町されるよう、誘客対策を実施していきます。長期的には、環境放射線等のモニタリングを継続実施し、全国的なブランド米やトマトなどの放射能の分析とその情報発信を行ない、消費者へ安全・安心な農林水産物を提供していきます。



安全・安心な南会津産米



# アスパラガスの茎枯れ病対策を

町長＝県へ補助対象の拡充を求め、さらに有効な対策を講じる

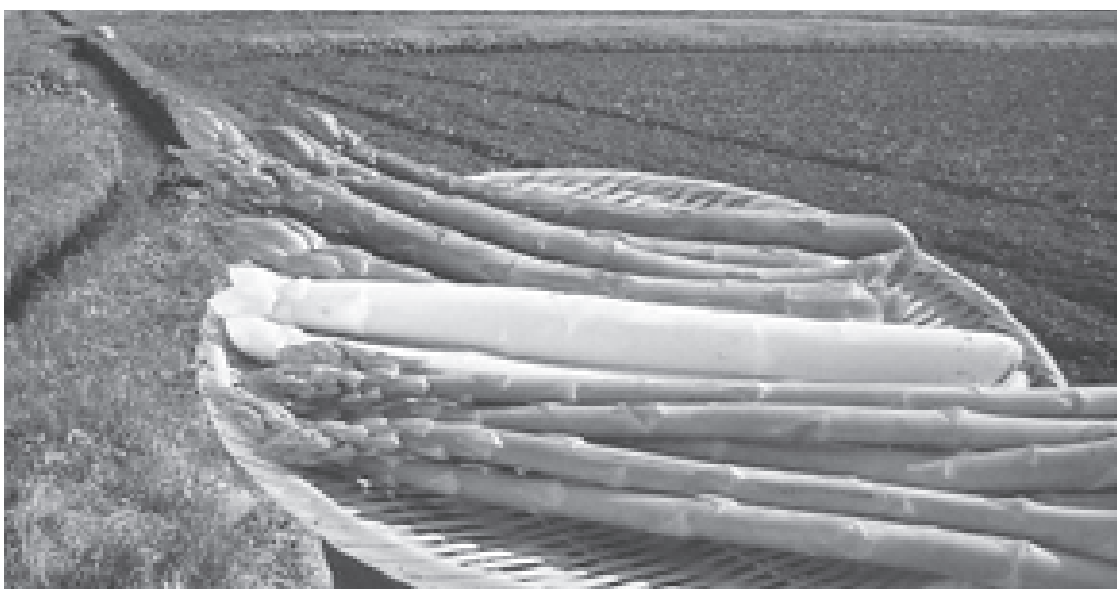
## 問

重点振興作物のアスパラガスが、今年は茎枯れ病の発生で収穫減少が見られました。  
アスパラガスの継続化のため、町の改善策とその対応は。

## 町長

茎枯れ病の影響により、JAアスパラ部会の総売上高は、1億846万4千円、前年比4、216万6千円の減額です。

また、総出荷数量は、12万9、331kg、前年比4万2、787kgの減少となりました。町も、茎枯れ病は深刻な問題と認識しており、次年度以降の対策は、県やJA、アスパラ部会等と連携し、病原菌の除去や焼却をお願いします。  
飛散拡大対策は、殺菌剤の一斉散布の実施を検討しています。



ブランド力がある南会津産アスパラガス

県に補助対象の拡充をお願いするとともに、引き続きJAや部会等と協議し、有効な対策を講じていきます。

## 会津縦貫南道路の現況は

町長＝国の直轄権限代行採択に向けた要望活動が重要

## 問

高規格道路「会津縦貫南道路」の現況は。 直轄権限代行の採択に向けた要望活動が重要です。

## 町長

下郷町4工区の国による

## 問

被災者が冬期間、安心して生活するため、生活道路の除雪支援は。

## 町長

除雪ネットワーク事業や地域たすけあい除雪事業で支援します。通常の除雪事業も被災者が冬期間を安全・安心に過ごせるよう、鋭意努力します。

## 被災地住民の生活道路の除雪支援は

町長＝除雪ネットワーク事業、地域たすけあい除雪事業で支援

# 第5回 臨時会

平成23年11月28日

## 新潟・福島豪雨災害 早期復旧をめざして

新潟・福島豪雨および台風15号の災害復旧に伴う補正予算が町から提案され、慎重審議の結果、全会一致で可決しました。

これにより、災害を受けた施設全82箇所のうち70箇所が平成23年度中に工事発注となります。

### 災害復旧事業工事費（平成23年度分）

区分	工事費
農地農業用施設	1億1,500万円
林業用施設	2億5,000万円
公共土木施設	3,537万円
水道施設	1,142万円
計	4億1,179万円

### 地域別災害工事箇所数

#### 南郷地域 14箇所

農地農業用施設（農地） 1箇所  
林業用施設 13箇所

#### 田島地域 4箇所

農地農業用施設（施設） 2箇所  
林業用施設 1箇所  
公共土木施設（河川） 1箇所

#### 伊南地域 41箇所

農地農業用施設（農地） 6箇所  
（施設） 4箇所  
林業用施設 27箇所  
公共土木施設（河川） 2箇所  
水道施設 2箇所

#### 館岩地域 11箇所

農地農業用施設（施設） 2箇所  
林業用施設 4箇所  
公共土木施設（河川） 2箇所  
（道路） 3箇所

**町長** 確かに交通事故が多いと痛感しています。が、事故の原因はすべて町側の過失だけではありません。しかし、町有車を運行している以上、十分に注意しなければならぬ。町職員の意識を改革し、事故を起こさないよう努めていきます。

**山内政議員** 議会報告会の際、町有車の事故が多すぎると町民から意見がありました。交通事故防止の対策は。

町有車の交通事故防止対策は

専決処分質疑

# 議会報告会

—住民と共に歩む議会であるために—

9月議会の結果を4会場で報告

## 内川・耻風地区

日時	10月22日(土) 午後6時30分から午後8時30分
会場	内川地区生活改善センター
参加者	区長ほか5名
出席議員	五十嵐 司・阿久津梅夫・菅家幸弘・長谷川耕一・大桃英樹
質疑事項	町税等滞納者に対し、行政サービスの制限はできないのか。
要望・意見	伊南川の河床が上昇し、水害の恐れがあるので改善してほしい。

## 藤生地区

日時	10月28日(金) 午後7時00分から午後9時00分
会場	藤生集会センター
参加者	区長ほか9名
出席議員	山内 政・楠 正次・湯田 哲・大竹幸一・湯田良一
質疑事項	交通事故を起こした町職員に対する罰則はあるのか。
要望・意見	本会議中に他の議員の質問を聞かず無駄話をしている議員がいる。私語は慎むべき。

## 福米沢地区

日時	10月28日(金) 午後7時00分から午後9時10分
会場	桧沢公民館
参加者	区長ほか8名
出席議員	高野精一・湯田秀春・室井嘉吉・室井 実・渡部 優・渡部忠雄
質疑事項	檜沢小と針生小の統合で校歌・校章はどうなるのか。
要望・意見	山林が活用されていない。山林を活用できる施策を打ち出してほしい。

## 上町・後原町内会

日時	11月12日(土) 午後6時30分から午後8時30分
会場	和泉屋旅館
参加者	区長ほか10名
出席議員	山内 政・芳賀沼順一・楠 正次・湯田 哲・大竹幸一・湯田良一
質疑事項	2つの衛生組合が統合するが、最終処分場はどうするのか。
要望・意見	特別養護老人ホームを増床してほしい。

※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。



# 会津の意志を実現するために

## —会津縦貫南道路を早期整備促進するための決議を採択—

本町は生活圏域の利便性向上と観光交流の活性化を目的に、会津地方の市町村で組織する会津縦貫南道路整備促進期成同盟会に加盟し、会津縦貫南道路の整備促進に向けた要望活動を実施してきました。

さきの東日本大震災や福島第一原子力発電所事故により、多大な被害を受けた福島県を早期に復興させるためには会津地方の役割が重要なことから、広域的ネットワークの軸となる会津縦貫南道路を早期に整備する必要があるため、12月議会定例会で「会津縦貫南道路の早期整備促進に関する決議」を採択しました。

### 会津縦貫南道路の早期整備促進に関する決議

「会津縦貫南道路」は、会津若松市と南会津町を結ぶ延長約50kmの地域高規格道路であり、平成10年に計画路線となり、平成19年には下郷町の約9kmが整備区間の指定を受け、小沼崎バイパスおよび湯野上バイパスとして事業化されるとともに、下郷町から南会津町までの約9kmが調査区間に指定された。

当道路は、一部開通をした会津縦貫北道路と一体となり「会津縦貫道」として、磐越自動車道とともに会津地方の縦軸と横軸を形成し、会津地域17市町村、さらには、東北内陸部と北関東地域を結ぶ広域幹線道路の一つとして、広域的な連携交流の促進が期待されている。

当南会津地方は急峻な山岳地の豪雪地帯であり、落石や積雪、路面凍結など地形や気象条件をはじめ、行楽シーズンには国道121号大内宿付近で大停滞が発生し、重症救急患者の高度医療機関への搬送をはじめ、地域生活に大きな支障を来しており、一年を通じた交通の利便性・安全性の確保が極めて重要で大きな地域課題となっている。

また、東日本大震災の地震発生直後には、東北自動車道や国道4号など多くの幹線道路が一時的に通行不能になったとき当地方の国道118号・121号が幹線道路の代替機能を果たし、被災地への物資、人員輸送に大きな役割を果たしたことは緊急時における代替道路確保のためにも、本路線の整備の必要性と緊急性は格段に高まったものと思われる。

については、南会津地方の産業経済、生活文化の向上、観光の振興、医療過疎地域の解消、通行車両の安全確保を図るため「会津縦貫南道路」の整備促進が図られるよう下記により強く要望する。

#### 記

- 1 整備区間（下郷町地内の約9km）を国直轄権限代行事業による事業採択をされるよう要望する。
- 1 調査区間（下郷町から南会津町までの約9km）を整備区間へ格上げされるよう要望する。

以上決議する。

平成23年12月16日

福島県南会津町議会

— 決議文全文掲載 —



# 常任委員会 視察研修の 調査報告

## 総務委員会

五十嵐司・室井実・大桃英樹・渡部優・楠正次・芳賀沼順一

平成23年10月24日～26日

青森県新郷村

着地型観光によるまちづくり

岩手県雫石町

第三セクターの運営

## 文教厚生委員会

高野精一・湯田良一・湯田秀春・星登志一・大竹幸一・菅家幸弘

平成23年9月27日～28日

埼玉県越生町

小・中学校の耐震化工事、保育園の園庭の芝生化

東京都町田市

特別養護老人ホームの受け入れ態勢

## 産業建設委員会

山内政・阿久津梅夫・長谷川耕一・室井嘉吉・湯田哲・渡部忠雄

平成23年8月30日～9月1日

高知県梶原町

森、水、風、光などの自然エネルギーを生かした取り組みによる生き物にやさしい低炭素なまちづくり

### 埼玉県越生町

平成11年度から平成23年度まで小・中学校3校の校舎・体育館の耐震補強工事および大規模改修を実施しています。耐震工法は、建物の構造に応じた工法を採用し、工期はいつでも授業に支障がないよう夏休み期間中で行なわれています。

また、大規模改修工事により校舎の内装を木質化したことで生徒の学習環境が改善されています。

### 調査結果

学校耐震化工事は耐震構造計算のできる専門家に依存せざるを得ませんが、学校は学びの場ばかりではなく、避難場所としても考えなければならぬ

め、誰の目にも安心な耐震工法が望ましいと感じました。

大規模改修は校舎の内装を木質化したことで生徒の学力や生活態度に成果が表れたことから、本町でも木質校舎における教育環境の研究をすべきです。

### 東京都町田市

高齢化率は21・5%と大都市であっても高齢化が進み、要介護認定者数が増加しています。10年後、前期高齢者と後期高齢者の人口推移が逆転する見込みのため、要介護3以上の認定者が希望すれば施設へ待機することなく入所できるよう計画を進めています。

平成21年度から特別養護老人ホームの建設費補助制度を設け、事

### 調査結果

業参入者へ1床あたり600万円の建設費補助金と市有地の無償貸与(20年間)を行ない、介護基盤となる施設整備を進めています。

都市部の特別養護老人ホームの使用料は、1カ月13万円～16万円を想定していますが、本町では要介護4以上の人が使用料6万円～7万円が入所可能なシステムを構築すべきと考えます。そのためには、施設建設費の補助金をどう工面するかが課題です。町の一般財源の支出を抑制するため、総合特区や震災特区などを使いやすい制度にしていく活動が必要ですが、また、公設民営も検討すべきです。



## 青森県新郷村

キリストの墓伝説などユダヤにまつわる伝承・遺跡が多く、神秘的の村として知られています。

キリスト湧説は、茨城県居所の竹内家に伝わる「竹内古文書」にキリストの墓が新郷村にあると記され、古代史研究家が墓の場所を特定したほか、ゴルゴタにて磔刑にされたとされるキリストは、実はキリストの弟・イスキリで、本物のキリストは密かに日本に渡っていたという伝説があります。

毎年6月には、キリストの霊を慰めるキリスト祭が開催され、県内外から注目を集めるとともに、その伝説や物語は村民に代々受け継がれています。

新郷村では、伝説を

活用した町づくりが展開され、交流人口の増加と地域産業に大きな活性化をもたらしています。

### 調査結果

新郷村では、今ある伝説や自然を大切に継承し、観光資源として有効に活用しています。地域の活性化につながることで、特色のある町づくりに取り組むこともできることが参考になりました。

## 岩手県雫石町

公の施設は58施設あり、指定管理者制度の管理施設が25施設で、町直営の管理施設は33施設あります。

町と指定管理者のかかわりは、道の駅など営利関係施設への指定

管理料は支払いをせず、10万円以上の修繕料が生じた場合は、町が負担しています。

第三セクターでは、町職員の派遣はありませんが、町長・副町長が役職に就いています。

町内のスキー場は民間資本で運営され、大手企業も進出しているため、町のかかわりはありません。

### 調査結果

雫石町は観光資源としてスキー場のほか、日本屈指の民間観光農場が開設され、観光の町として飛躍しています。本町も限られた観光資源と施設を再度検証しつつ、町の方向性を導き出し、誘客と雇用につなげていきたいと思っています。

## 高知県梶原町

「共生と循環の思想」と「絆」を基本理念に、自然エネルギー利用を推進する「環境モデル都市」に指定されています。

基幹産業である林業は、超長期にわたる森林経営を目指した森林づくりを進めるため、「梶原町森林づくり基本条例」を制定し、町事業者・住民の責務や役割を明らかにしています。

また、現存する森林資源を有効活用するため、間伐を促進するほか、町産材を利用するための補助・交付金制度が整備されています。

新エネルギーの取り組みでは、風力、小水力、太陽光、地熱など自然の営みから得られるエネルギーを積極的に

に利用しています。

なかでも、先進的な取り組みとして、風力発電で発電している電力（年間3、800MWh）を1Kwあたり11・5円で四国電力㈱に売電し、その利益を環境基金に積み立て、町民が新エネルギー設備を導入する際の補助金に役立てています。

### 調査結果

林業の位置づけが将来をしっかりと見据えたものであり、町内の公共施設のほか、駐車場の車止め、道路のガード支柱にも町産材の木材を使用するなど、町の方向性が徹底されています。

新エネルギー政策は、町指導者とそれを支えた町民の意識の高さを感じました。風力電力から得られる収益

で、森林の多面的機能の高度発揮を促し、太陽光発電設備の町民への普及、そして水力発電で得た電力を中学校へ供給し、なおかつ深夜は町中の街頭を照らすという無駄の無いエネルギー利用でした。

また、公共施設に太陽光発電設備を設置し、大幅な電気料金のコストダウン化がされている現実を見たとき、本町でもしっかりと研究をして前に進む必要を感じました。森林の整備を進めていく中で、木材の利用促進と新エネルギーの地産地消という観点から、本町では木質バイオマス発電施設導入が一つの方向性と思いました。

# 傍聴席が満席 檜沢・田島小学校6年生の皆さんが議会を傍聴

12月15日に檜沢小学校6年生5名と田島小学校6年生54名の皆さんが議会を傍聴しました。傍聴当日は一般質問が行なわれ、町議会議員の町政に対する意見や疑義、町長の施策や今後の方針などの答弁に耳を傾けていました。

南会津町の未来を担う子どもたちが傍聴していることもあって、議場はいつにもまして熱い議論がくり広げられました。



議会傍聴におこしください

## 平成24年3月定例会

3月9日(金)から予定

議会傍聴の手続きは簡単。  
本庁3階傍聴席入り口で住所と名前を書くだけです。  
傍聴席で議案も閲覧できます。

### 議会広報委員会

- 委員長：湯田 哲
- 副委員長：大桃英樹
- 委員：湯田良一
- 委員：室井嘉吉
- 委員：楠 正次
- 委員：菅家幸弘

「議会を見学して」  
檜沢小学校6年 湯田 萌

みんなの思いや願いがどのように政治に生かされているかを、議会を見学することを通し深めたいと考え、私たち檜沢小6年生は、町議会を傍聴させていただきました。

実際に、議会や施設の様子を見学させていただいたことは、議会の役割について知る上で、とても参考になりました。それ以上に、町の人たちの声を聞き、今の南会津町よりもっと素敵な町にしようと考えてくださる議員の方々、そして、それを真剣にお聞きになり、どうすればよいのか考えてくださる町長さんの姿に感動しました。周りのことを考え行動することは大変だと思いますが、町長さんや議員さんの方々ににとっては当たり前のことなんだと思いました。みんなの幸せのため、南会津のためになんばつておられる姿を見ることができ、社会についての理解がまた一つ深まりました。

私たちの幸せを考えて仕事をされている方々に感謝し、これからも毎日生活していきたいと思えます。

